



▲夢にかぶりつけ（自治会、パンくい競争）

かごしま

あいら

市議会だより

No.25

9月定例会

平成28年11月30日発行

ギカイ
の窓

政務活動費は？

22

一般
質問

21人が市政を問う

10

条例

農業委員公選制廃止

8

決算

認定466億円

2

466億円の使い道をチェック



平成27年度
決算

一般会計歳出

283億6367万円

特別会計歳出

182億6424万円

● 9月議会（第3回定例会）

会期 / 9月2日～10月7日

36日間

● 9月議会の議案

- 議案……………21件
- 諮問……………4件
- 陳情・請願……………3件
- 発議……………3件
- 選挙……………1件

全ての議案と採決結果は、
始良市ホームページを
ご覧ください。



決算

○平成27年度の税金の使い道を確認し、認定しました。
(詳細は、3・5ページ)

補正

- B型肝炎ワクチン接種が定期化されました。
- 介護ロボットが導入されます。
- 松原たいこ公園のトイレ、遊具等が整備されます。
- 災害復旧が進みます。
(詳細は、6・7ページ)

市民ひとり当たり借金額42万円

27年度の市債(借金)残高は、323億714万円で、市民ひとり当たりの借金は42万円です。

市民ひとり当たり預金額10万円

27年度末の25の基金残高は、76億424万円で、市民ひとり当たりの預金額は10万円です。



▲訓練に汗を流す隊員の皆さん

平成27年度 決算審査

市議会では、皆さんが納めた税金がどのように使われたか、「決算審査特別委員会」を設置し、審査しました。

以下に主な質疑を紹介します。



▲現地調査を行いました

平成27年度決算額

歳入	歳出
490億186万円	466億2791万円



▲日頃からの訓練が大事です

総務班

質疑 空家バンク制度の成果を示せ。

答弁 売買が11件、賃貸が2件あった。

質疑 自主防災組織と地域防災の訓練について説明せよ。

答弁 市の目標は自主防災組織の育成強化です。

まず校区コミュニティ協議会をひとつの核として実施するために、代表者会での説明や、地区の訓練のときに結成に向けてお願いしています。



▲平成29年4月オープン予定の新火葬場

文教厚生班

質疑 障害者自立支援給付費について説明せよ。

答弁 就労継続支援サ―ビスの利用者が多いです。

A型事業所が7か所、B型事業所が12か所あります。近年、事業所が急激に増加しています。

質疑 火葬炉の業者選定について説明せよ。

答弁 プロポーザルによる選考を実施しました。

その結果、「環境対策」「施設管理」等、総合的な採点により決定しました。

産業建設班

質疑 市営住宅の使用料滞納者の状況は。

答弁 継続滞納者は114人おり、そのうち高額滞納者が34人で、約3800万円の滞納額です。

質疑 合併処理浄化槽設置数が減少した理由は。

答弁 予算が不足したのが原因で、汲み取り及び単独浄化槽からの切り替え分の100件くらいは待っていただきました。年度の途中でしたが、27年度の事業は中断しました。



▲水道施設等の補修更新が進みました

27年度決算 主な指摘事項

一般会計

- 校区コミュニティ協議会は、かたちの上では市内17か所の組織が立ち上がったが、今後、協議会の活動がさらに充実するよう支援すべきである。
- 不登校など問題を抱える児童・生徒との関わりをさらに丁寧にするため、スクールソーシャルワーカーを増員すること。また、総合的な解決に向けて関係機関との連携をさらに強めるとともに、義務教育終了後の子ども達に対して、継続して支援できるような体制づくりに努めること。
- 男女共同参画においては、課として一本化した予算のもとに、始良市男女共同参画基本計画に基づいた全庁的な事業管理を行う統括・調整機能の強化を図ること。
- 事業系ごみの減量化のため、増え続ける事業系ごみの分析をし、内容を明らかにすること。さらに分別指導を強化して再資源化を図り、循環型社会の構築を推進すること。
- 道路の拡幅改良や維持補修の要望に対する事務手続きのルールを速やかに規定し、対応をさらに加速すること。
- さえずりの森の指定管理については、レストラン経営を再運営できるよう第三者も交えたあり方検討の機会を設けること。

特別会計

【国民健康保険事業】

- 北山地区を対象に、保険・医療・介護・福祉のあり方について検討することを目的に実施したアンケート調査結果も参考に、常勤医師の体制整備に努めること。

【後期高齢者医療】

- 今後も継続して、重複・頻回受診者の解消を図ること。

【農業集落排水事業】

- 農業集落排水施設の使用料未納者への対応は、関連部署と連携して未納解消に努めること。

【地域下水処理事業】

- 下水処理施設を維持・更新するために適正な使用料のあり方を検討すること。

採決結果／討論

平成27年度一般会計 歳入歳出決算認定

認定

賛成21

反対2



▲植栽が望まれる須崎公園

反対討論 渡邊 理慧

①税の徴収強化、社会保障の給付削減につながるマイナンバー制度のシステム改修が含まれている。

②公共施設の統廃合や複合化、民間への譲渡は市民サービスへの低下が懸念される。

③住宅扶助費の削減により、生活保護世帯の安心が脅かされる。

賛成討論 森 弘道

合併後6年経過し、予算規模も20億円増えて、290億円台となった。

平成26年度決算指摘については発達障がい者に対する臨床心理士の配置や支援教育に6人が増員となり、指導員の強化が図られた。歳入歳出予算の適正な執行が図られた。

賛成討論 新福 愛子

平成27年度は組織再編において

・男女共同参画課に配偶者暴力相談センター設置
・子ども政策課や子育て支援課が分離新設
・生活困窮者自立支援法に基づき支援制度の開始など、市民に丁寧に向き合う横断的・総合的な各種相談窓口の充実が図られた。

いかに提言



▲山田の里かかし祭り元気よく太鼓たたき（山田保育園）

平成26年度決算審査特別委員会は、審査の中で市が解決すべき課題を指摘しました。指摘された課題が、平成27年度事業でどのように解決されたのかを検証しました。その中で身近なものをご紹介します。

現状と問題点
 農林業者の所得向上と地産地消の推進、雇用の拡大を図る目的で、始良市6次産業促進事業補助金を平成24年度に創設しました。

今後の解決策
 「6次産業化とは聞かぬが、具体的にどのように始めるか分からない」と言った生産者や団体等からの声がありました。

新たな加工品の開発や販路拡大などの6次産業化に取組む個人・団体・事業所等を支援しています。

6次産業化に取り組む事業者の掘り起こし、新しい商品開発や販路拡大等、積極的に事業推進を図ります。



▲有機の始良産桑を6次産業化（桑農家 樹わくわく園）

6次産業化への事業推進図れ
 積極的に推進



現状と問題点
 鳥獣被害対策は、農作物被害防止の「わな」や「電気柵」の設置など防除業務は農政課が担当しています。

今後の解決策
 鳥獣被害に対する防除および捕獲の窓口を一本化する方向で考えています。

鳥獣被害対策の窓口一本化図れ
 一本化へ調整

可決
賛成23名
反対0名

補正

暮らしやすいまちづくり実現

B型肝炎ワクチン0歳児 定期接種化

718万円

予防接種法が改正され10月1日からB型肝炎ワクチンが定期予防接種化されることになりました。ワクチン接種の対象者は、平成28年4月1日以降に生まれた一歳未満の子どもで、接種回数は3回です。

市内の接種者は約1200人で、医療機関へ委託します。

介護ロボット導入

556万2千円

国からの「地域介護・福祉空間整備推進交付金」を活用して、介護サービス事業者が介護ロボットを導入する経費の一部を助成します。介護ロボットの使用により、介護従事者の身体的負担の軽減、業務の効率化をはかり、介護従事者が就労継続するための環境整備を目的としています。

始良市6施設に556万2千円を補助します。



▲介護ロボットのイメージ

松原たいこ公園拡張整備

3000万円



▲写真奥の敷地に整備

現在、供用している松原たいこ公園の区域拡張を進めます。トイレの整備では、男子トイレ（小3・大1）女子トイレ（2）多目的トイレを設置します。また、健康維持・増進のため、健康遊具も設置されます。今回、県地域振興推進事業として、9月6日付で交付決定をうけました。

松原たいこ公園は、帖佐第一地区土地地区画整理事業による公園用地として位置付けられています。

補正予算額（災害復旧費用を含む）

5億3651万円

予算総額301億5368万円

条例

中山教育基金、追加 理数教育に活用

中山教育振興基金は、平成26年度に設立され、これまでに債権ファンド3件の寄附を受けました。基金の運用により、スーパーサイエンス総合事業で児童生徒の理数教育の推進に取り組んでいます。講座を受講した生徒は「星を撮影した写真の分析を行い、小さくて大変難しいカタリナ彗星、天王星、海王星を発見できた時の達成感は大きかったです。」と感想を寄せています。

可決
賛成23名
反対0名

今回、中山昭氏より、新たな債権ファンドの寄附申し出があり、より安定的に充実した理数教育の振興が図れるとして期待されています。



災害復旧費用を計上 4億4290万1千円

集中豪雨により被災した市有施設等の復旧費用を計上しました。

竜門小学校の教頭住宅法面崩落の復旧、小川内いき交流センター敷地の法面崩落、被災を受けた永瀬橋の撤去費用のほか、市道や農道・農地等の復旧に充てられます。

また、第2回定例会で予算化した箇所の工事費用も含まれています。



▲小川内の法面崩落



▲竜門小学校の教頭住宅裏



▲永瀬橋も危険な状態

農業委員の公選制廃止 新たに推進委員を設置

農業協同組合法の改正に伴い、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等の積極的な推進のため、その活動を担う農業委員会に関する条例の制定です。

改正内容

農業委員の選出方法が、これまでの公選制を廃止し、市長が議会の同意を得て任命する制度となります。

農業委員会の定数は、農家戸数、農地面積により決まり、始良市では19人となります。農業委員選出条件の主なものとして、認定農業者が委員の過半数とし、農業者以外の者1人以上、女性・青年も積極的に活用する等です。

また、新たに農地利用最適化推進委員が設置され、農業委員会の区域内の農地面積100鈔に1

人の割合で配置されます。

始良市は農地面積1750鈔であり、定数基準は18人以下となります。旧町ごとにそれぞれ4人で合計12人が選出されます。

役割分担

農業委員は、総会での法令業務の許可・決定や、農地利用に関する意見決定などです。

農地利用最適化推進委員は、総会時や農地利用等に関して意見を述べる事ができます。

現在の農業委員の任期は、平成29年3月22日新制度への移行は同年3月23日となります。

反対討論 堀 広子

農業委員会の法改正は法律の目的から「農民の地位向上」を削除し、委員の公選制を廃止、「意見の公表、建議」を業務から削除している。

農業委員会制度の根幹（農民の代表機関）としての権限を奪い、農地の最適化、流動化のみを行う行政の下請け機関に変質させることになる。

可決
賛成 18名
反対 5名



▲農地を守り自給率向上につながるか

多子世帯の幼稚園保育料の負担軽減



▲姉妹で仲良し♪

子ども子育て支援法の改正で、多子世帯の保護者の負担軽減を行います。年収360万円未満世帯の幼稚園保育料は第2子半額、第3子以降は無償ですが、小学校4年生以上は、多子としてカウントされていませんでした。

今回この年齢制限が撤廃されました。

ひとり親世帯では、年収270万円から360万円未満世帯の第1子は半額に、第2子以降は無償となります。また年収360万円未満の非課税世帯では全て無償となります。

可決
賛成 23名
反対 0名

陳情 1 件 請願 2 件

採択



▲循環バスは割引制度がある

精神障がい者の交通運賃割引を求める陳情

採択

陳情者 脇 玲子

陳情の趣旨

障害者差別解消法では、障がいの有無によって分け隔てられることなく、人格と個性を尊重しあえる社会の実現を目的とし

ています。行政及び事業者には、障がいを理由とする差別解消を求めています。しかし、精神障がい者は、身体障がい者、知的障がい者に適用されている交通運賃割引制度が除外されています。精神障がい者も、交通運賃割引制度の適用対象となるよう意見書の提出をお願いします。

賛成討論

神村 次郎

採決結果
全会一致で採択し、意見書を提出しました。

市道桃木野曲田線の整備改良等の請願

採択

請願者 河野 訓
紹介議員 堀 広子

請願の趣旨

桃木野曲田線は、桃木野自治会の幹線道路であ

り、循環バス路線として地区の重要生活道路であります。車の離合場所が少なく、特に夜間の通行は不安です。安心安全、地域活性化のためにも、次の4点について整備を求めます。
①離合場所の設置(用地は了解済み) ②側溝の整備、道路の拡幅改良 ③道路法面の整備 ④落石危険箇所の防護施設の整備。

採決結果

反対1、賛成22で採択しました。



介護保険制度、軽度者への給付を継続する意見書の提出を求める請願

採択

請願者 西園 靖彦
紹介議員 堂森 忠夫・犬伏 浩幸

請願の趣旨

国は、介護保険制度を見直す方針を出しています。

財務省案では、要介護2までのサービスを市町村事業に移し、車椅子、ベッド等の福祉用具の使用や、手すり設置などの住宅改修、生活支援は原則全額自己負担とする内容です。生活維持のためサービスを断念せざる



を得ず、介護度の重篤化を招き、社会保障費全体が増大します。「要介護、軽度者に対する生活支援サービス、福祉用具貸与やその他の給付の見直しの検討を行う」という基本方針は再考すべきです。

採決結果

全会一致で採択し、意見書を提出しました。

人選と任期

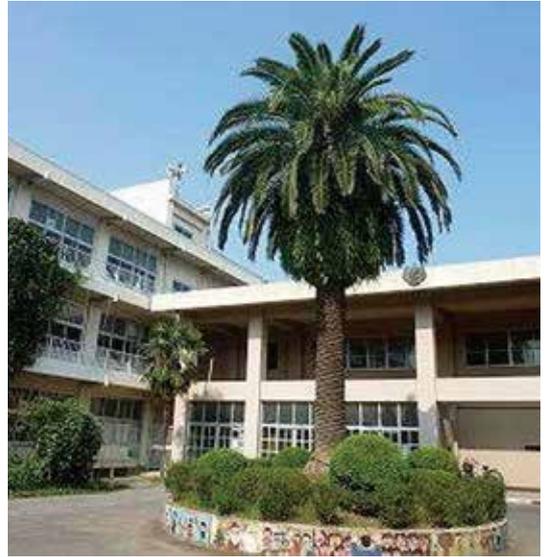
市長／原則76歳未満で任期3年

民生委員



和田 里志

和田 民生委員の業務内容とその人選、任期、あり方について問う。
市長 民生委員は、原則76歳未満の方で任期は3年、地域住民の立場に立って福祉を担うボランティアで、自治会等の推薦を受け、厚生労働大臣が委嘱する。



▲語り継がれているフェニックスの木

少子・高齢化や家庭・社会環境の変化に伴い、その役割はますます重要となつていくことから、行動力と柔軟な指導力を有する方の確保が必要と認識している。

企業の逸話を教育に

教育長／道徳の委員会にて検討

和田 本市の企業経営者から40数年前寄贈されたフェニックスの木が、小田原市の新玉小学校のシンボルとして大事にされ、そのいきさつが逸話となつて現在も語り継がれている。

このような逸話を本市

の教育現場でも取り上げないか。

教育長 道徳の資料として活用できるかどうか「道徳の時間指導法開発委員会」で検討していく。

病児保育

専門的な施設整備を

市長／必要がある



湯川 逸郎

湯川 子どもの病気や、アトピー及びアレルギー等で悩んでいる保護者の方々が、安心して子育てできる環境を整える事が重要である。
そのためにも専門的な病児病後の保育施設整備を強く望む。

市長 病児保育事業は、病児対応型・病後児対応型・体調不良時対応型・訪問型・送迎対応型の5種類に分けられる。

本市においては、病児対応型で展開しているが、さらに専門的な病児病後の事業展開をしていく必要がある。

フツ化物洗口事業

教育長／現段階では実施予定はない

湯川 虫歯予防効果に

ながるフツ化物洗口事業を霧島市同様、保育園・幼稚園・小学校まで、事業導入を図れないか。
教育長 フツ化物洗口は、歯の質を強化し、虫歯予防に効果があることは認識している。

全ての保護者の承諾、教師が一齐に指導する時間確保、薬剤の保管・管理のための設備が必要であり、学校においては、現段階で実施する予定はない。

その他の質問

○自治会加入状況

○市営プールの建設

を問う

一般質問



▲手厚い病児保育施設

医療

入院患者の転院は

市長／病状や回復の度合いによる



田口 幸一

田口 何故、一定期間入院治療すると転院させられるのか。
市長 医療・介護の需要



▲早く元気になってね

増に対応する供給の確保と、在宅医療への移行を促進する必要があると考える。急性期病院・回復期リハビリテーション病院・療養型病院の3つに分類される。
急性期病院は、急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けた医療を提供する機能を有した医療機関である。

療養型病院は、長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能を有した医療機関である。

回復期リハビリテーション病院は、急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療や、リハビリテーションを提供する機能を有した医療機関である。

療養型病院は、長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能を有した医療機関である。
かさむ医療費を抑制するために、病状や回復の度合いによつての転院となったものと考えられる。

その他の質問

- グリーンスパあいら温泉の再開
- 稲荷橋に歩道橋の設置
- 夏祭り

市政

21人が

災害 タイムラインの制定

市長／具体的に検討する



小山田 邦弘

小山田 蒲生体育館や始良公民館、加音ホールなどの火災報知機は消防署と連動していない。
危機管理上問題はないか。
市長 今回の報知機は誤作動が多いので、総体的に検討していくべきだと考えている。
小山田 ペットの同行避難については、どのような改善が検討されたか。
市長 動物の鳴き声や臭気など、環境面・衛生面を鑑み、避難者の避難所生活を優先的に配慮するとともに、家庭動物専用のスペースが確保できる避難所を数箇所確保する方向で検討している。
小山田 熊本では災害時に指示待ち人間が増えて



▲タイムライン

しまい、主体的に行動する人が少ないことが問題になった。
主体的な防災意識を生み出す意味でも、発生が想定される災害に対して、いつ、だれが、何をするのかを時系列で整理した災害対応のタイムラインは有効である。導入する考えはないか。
市長 災害事象に対してタイムラインは今後必要になってくると思われる。現在、本市では制定していないが、今後は導入時期も含め、具体的に検討していく。

その他の質問

- 健康あいら21

減災の備え

防災士会と協力体制

市長／隊友会と災害協定を締結



鈴木 俊二

鈴木 減災の備えを進めるために防災士会と行動指針を定めると共に防災士を養成するため、助成・協力の考えを問う。

市長 隊友会鹿児島県始良支部と災害協定の締結により、救援補助活動の支援協力体制は図られたと考える。



▲連携が求められる防災士会

小規模企業振興基本条例の制定

市長／今後も取り組む

鈴木 計画的に地域経済の発展と市民生活の向上を図るため、理念と方針を掲げた小規模企業振興基本条例制定の考えを問う。

市長 市においては「創業支援事業計画」を、商工会においては「経営発達支援計画」を策定している。

この計画を活用し中小企業・小規模企業の支援体制は商工会と連携しながら、小規模企業の成長発展と事業の持続的発展を基本原則とし今後も取り組んでいく。

退避場設置を図れ

市道整備

市長／今後、調査・研究する



東馬場 弘

東馬場 市道南塩入・須崎線は一部見通しが悪く、狭い箇所があり、通行車両の離合や歩行者・自転車などの接触も懸念され危険である。

この通り沿いにある用水路の一部を活用し、離合のために退避場として蓋の設置はできないか。



▲離合設置箇所を望む狭い道路

市長 部分的な退避場の設置は、事故防止や円滑な通行確保の観点から、有効な計画である。

退避場の設置については、道路形態や周辺の土地利用等を勘案し、今後調査・研究していく。

運動施設の整備

市長／各地に整備する

東馬場 本市の運動施設の整備は、他市に比べ遅れている。

運動施設の整備を総合

計画に追加し、グラウンドゴルフ場などスポーツ環境の充実を図り、市民の期待に応えるための対策は。

市長 グラウンドゴルフは市民の交流の手段や、健康増進に寄与する役割の大きいスポーツである。グラウンドゴルフ場はもとより、多目的に利用できるグラウンドを市内各地に整備していく。

その他の質問

○熱中症対策

特別支援教育

支援員の配置と当初予算

教育長／適切に対応



本村 良治

本村 今年は支援員を何名配置し、当初予算はいくらか。
教育長 現在、支援員を43名配置して特別に支援を要する児童生徒の教育的支援や介助などを行い、適切に対応している。



▲新総合事業が始まる介護施設（重富地区）

予算は国からの財政措置で3千672万5千円である。

新総合事業 市長／定率で設定する

本村 新総合事業における自治体のサービス利用者の負担はどのようになるか。

市長 サービス単価の設定は国が定める額を上限とし、負担割合は各市町村に委ねられている。サービス利用者の負担割合を本市においては、現行の介護給付の利用者負担割合である定率で設定する。

総合運動公園

水銀・防犯灯の設置

市長／設置しない考え



萩原 哲郎

萩原 水銀・防犯灯を、陸上競技場と野球場裏に設置してほしいとの要望があるが考えを示せ。

市長 陸上競技場内の要望も聞いているが、夜間の使用を認めていない施設である。
夜間の使用は控えていただきたい。

野球場についても防犯面や安全面に不安があり、設置しない考えである。

高倉展望台に看板を 市長／設置する予定

萩原 高倉展望台ではバーベキューは禁止となっているが、看板が目立たない。
入口に禁止の立て看板と、パトロールが必要ではないか。

市長 今後、入口の見えやすい場所に、新たに看板を設置する予定である。



▲高倉展望台ではバーベキュー禁止

施設内のパトロールについては、指定管理者が午前9時と午後4時にパトロールを実施し、宿泊者がいるときは、午後9時にもパトロールを実施している。
今後、パトロールの時間帯については検討していく。

その他の質問

- 住吉キャンプ村施設等
- 重富海水浴場・市内の河川の水質・魚介類等の成育

子育て支援

子ども食堂や学習支援

市長／学習支援を実施



竹下 日出志

竹下 一人で食事をする子どもに対して、子ども食堂や学習支援を行い、子どもを温かく見守る事業は考えないか。
市長 県のモデル事業として、ひとり親家庭の小学・中学生を対象にした学習支援を、市母子寡婦福祉会が9月から始良公



▲読書意欲を高める「読書手帳」を配布

民館で実施している。子ども食堂を開設したり、高齢者サロンで子どもと食事をする活動を検討する団体等に、情報提供等の支援を行う。

図書館サービスの充実 教育長／読書通帳を検討

竹下 活字離れが指摘される中、子どもや大人の読書意欲を高める施策として、読書通帳を導入する考えはないか。

教育長 読書通帳は、読書意欲を高める有効な手

段として実施に向けて検討してきた。

本市では、お薬手帳タイプと自書タイプの2種類を作成して、本年8月から配布を始めた。

今後、市民の皆様を活用、普及促進に努める。

その他の質問
○災害に対応する体制の整備

環境問題

今後の取組み

教育長／2030年度で点検・見直し



神村 次郎

神村 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議でパリ協定が採択された。

本市の環境基本計画の今後の取り組みについて問う。

教育長 2030年度までにマイナス26%という厳しい目標である。

市レベルでも温暖効果ガス排出削減の活動を推進しなければならない。

これまで太陽光発電設備補助事業等を実施してきたが、国・県等の社会的動向を見ながら、基本計画を見直す。

貧困問題 市長／実態把握や情報収集

神村 子どもの貧困について、実態調査が必要ではないか。

市長 非正規労働者や失業者の増加、ひとり親家

庭等の増加等で所得格差が拡大し、貧困問題が社会的な課題となっている。関係部署と連携し、実態把握や情報収集を検討する。

また、子どもの貧困を地域で支援する体制を研究し、子ども食堂の開設を検討している団体等に情報提供等の支援をする。



▲日本の重要湿地に指定されている重富干潟

施設整備

校区コミュニティ協議会の館

市長／校区振興計画を尊重



新福 愛子

新福 校区コミュニティ協議会の館の整備についての考え方を問う。

また、錦江校区の館では、トイレ設置の要望があるが見解を問う。市長 地域活動拠点施設のあり方については、策定に取組んでいる「校区振興計画」を尊重しながら、優先性や財政上の問題等も踏まえ、方向性を示していく。



▲トイレ設置が望まれる錦江校区コミュニティ協議会の館

トイレ設置等の個別の案件については、企画部と教育部が連携を図りながら改善に向けた検討を進めることは可能である。

マイライフ・ノートの作成

市長／調査・研究していく

新福 県医師会が昨年度まで取り組まれたマイライフ・ノートは、人生を振り返り、これからの人生を踏み出すきっかけにもなり好評だったと聞く。終活というより、「人生これから」という本市独自のマイライフ・ノートの作成に取り組めないか。

市長 終末を迎える準備だけではなく、質の高いシルバー世代を迎えるツールとしても活用できる。

今後、他市の状況等を調査・研究していく。

その他の質問

○切れ目のない安心の妊娠・出産・子育て支援策の拡充

認可外保育所への補助

市長／総合的に検討

子育て支援



吉村 賢一

吉村 名実ともに「子育てするなら始良」にするため、認可外保育所に対して、直接の補助を考

る時期は今ではないか。

市長 する方向で検討しているが、一律的な補助

はできない。一定の基準をクリアして頂いてそのことに補助をかけていき



▲認可外保育所として頑張っている「ナホミ幼児学園」

たい。一挙には出来ないからできる所から年次的に整備していく方向で検討する。

防災に対する日頃の構え

市長／隊友会と災害協定

吉村 ①現在の地域防災推進員に、どこまでの仕事範囲を期待するか。

②防災士と連携しているか。

③地域や自治会の避難誘導に、どう取り組むか。

④ハザードマップの避難

所表記の加除更新は。

市長 ①自助・公助・共助の普及啓発を進め、自主防災組織の結成促進に取り組んで頂きたい。

②防災士会とはいまだ連携できていないが、隊友会（自衛隊OB）始良支部と災害協定を締結している。

③まず校区コミュニティで展開して頂き、各自治会も参加し、各組織との連携を深めてもらう。

④市のホームページで新しいものを掲載している。

旧竜門中学校

建て替えを図れ

市長／検討する



堂森 忠夫

堂森 旧竜門中学校の校舎は、補修・改造や耐震補強等の工事は遅れている。時代の変化と地域の発信基地として、複合的な用途の建物として建て替え



▲建て替えを望む旧竜門中学校の校舎

の推進を図れ。
市長 地域活性化の拠点施設としてふさわしい施設の整備について検討する。

市営納骨堂

市長／設置は考えてない

堂森 他市町村からの移住者や、身よりのない人・後継者が少ない人など、経済的に高価な納骨堂を購入できない市民のために、市営納骨堂を設置し、管理・運営を行い福祉施設の向上に努めよ。
市長 少子高齢化等で、墓地から納骨堂へ移される家族が多いことは認識しているが、墓地や納骨堂は、それぞれの地域における歴史を踏まえた管理のやり方や、宗教性もあることから、市営の納骨堂の設置については考えていない。

その他の質問

○国民の祝日・山の日

業務は市内ですべき

市長／委託を視野に協議

ふるさと納税



湯元 秀誠

湯元 ふるさと納税の業務は県外業者に委託され、始良市を応援したい方が「ふるさと始良は本気度はあるのか」と疑念を持たれている。

経緯と委託料を示せ。

市長 昨年度、ふるさと納税制度の改正に伴い市のPRや返礼品など見直



▲始良市を盛り上げたい地元業者

大山地区公民館の対応

市長／検討を行っている

しを行った。
市のホームページでは対応が難しく、ふるさと納税ポータルサイトに委託した。
昨年度の委託料実績は220万円である。
湯元 申請の受け付け、返礼品の発送など始良市内で母体づくりをすべき。
市長 寄付金から返礼品の発送等の事務については商工会等と連携し、委託を視野に入れ協議していく。

湯元 蒲生の大山地区公民館施設の移転整備の要望書提出の対応はどうなっているか。

市長 大山地区の公民館と隣接する避難所の旧大山小学校は高台にあり、高齢者の方々には非常に不便である。

また公民館周辺に亀裂が入るなど使用が困難な状況である。

コミュニケーションや避難所、交流の場の確保を念頭に、多目的集会施設の検討を行っている。

森山線

早期の踏切整備

市長／JRと協議検討する



上村 親

上村 平成9年から計画協議をしている、森山線および松原線の工事完了などの内容を示せ。全線開通と同時に、仮称森山線踏切の設置を考えているのか。市長 森山線と松原線の工事は、26年から30年度までの5か年計画で完了



▲急がれる踏切整備

する予定である。

JRとの計画協議では、森山線踏切の平面交差が了承され、条件として市内踏切の統廃合の検討が示されている。

また、8月にJRと良好地域の踏切整備計画について協議している。

森山線・松原線が接続すると松原方面から多くの車両の流入が予想されるため早期の踏切整備が

必要だが、都市計画道路の整備と連動した整備を行う計画としている。

その他の質問

○ふるさとハローワーク 移転

三州同盟会議

市長／平成31年に実施予定

記念事業の開催年度



法元 隆男

法元 三州同盟会議の進捗状況と記念行事の開催年度はいつか。市長 会議は5回開催され、現地視察を含め、平成27年度には「あい駆けよ」と題したパンフレットを作成し、国民文化祭などのイベント等をはじめ、様々な形でPRに努めた。

今年度は「義弘公を巡る三州同盟の旅」と称した、ゆかりの史跡等を巡るバスツアーを11月に実施する予定である。記念事業は平成31年に実施予定である。

文化財の説明板

教育長／多言語の解決が不可欠

法元 外国語の説明板をもっと増やすべきではないか。

教育長 今後、外国人観光客が増加すると予想されるため、多言語の解説が不可欠である。

その他の質問

○高齢者の安否確認 ○鹿児島中央郵便局の一部機能移転

国や県の支援策の導入を含め、観光部署と連携した取組みを進めていく。



▲多言語による説明板

公園整備

バスケットゴールの設置

市長／調査研究する



渡邊 理慧

渡邊 学生から公園にバスケットゴールを設置してほしいという要望があるが、天神公園等にバスケットゴールの設置はできないか。
市長 現在、春日公園に設置してあるバスケットゴールは、騒音に対する苦情などが寄せられている。



▲バスケットゴールがあるのは春日公園のみ

る。
健全な学生や若者が有効に活用することは、すばらしいことであり、今後も課題の解決を図りながら調査研究する。

中山間地域の人口減少対策

市長／準備を進めている

渡邊 始良市は移住定住促進条例を設けていたが、平成27年3月をもって終了している。
新たな条例の整備が必要ではないか。

その他の質問

○空き家対策

市長 市外から補助対象地区に転入された世帯に補助金を助成した間、対象地域の人口増に成果があったと考えている。今後さらに中山間地域への移住・定住を促進するために、対象者等の見直しや補助内容のあり方等も検討し、条例を提案する準備を進めているところである。

児童クラブ

利用料減免

市長／運営を統一し対応する



堀 広子

堀 経済的に厳しい家庭に児童クラブの利用料減免制度を実施できないか。

市長 個人情報保護の関係上実施が困難である。

堀 減免を実施している自治体は58%もある。

減免申請書を担当課に郵送することで、個人情報報はクリアできないか。

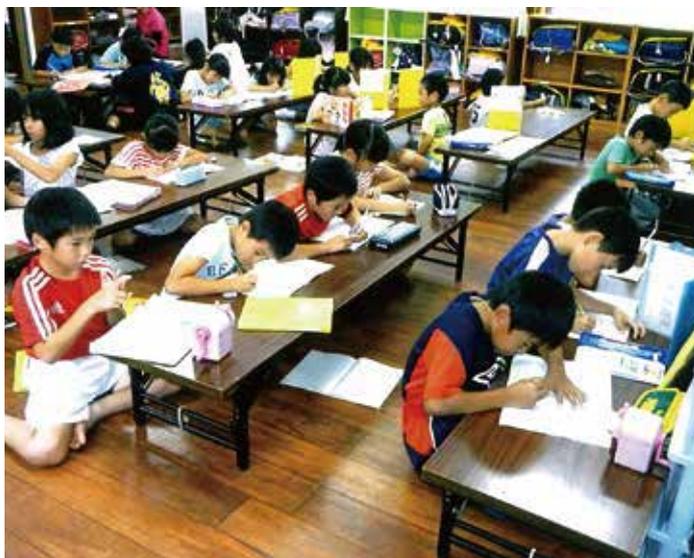
市長 貧困対策として必要であると考ええる。

各児童クラブの運営が異なるので、統一してから対応していきたい。

子どもの貧困対策

市長／充実を図る

堀 子どもの貧困対策として実態調査をし、具体的対策について計画を策定すべきではないか。
市長 関係部署と連携し、実態把握や情報収集等を



▲みんな勉強がんばってま〜す

検討している。

また、子ども子育て支援事業計画の次期見直しで充実を図っていく。

堀 実態調査は対象者の枠を拡げ、教育やケアの重要な時期である。

乳幼児も含め調査すべきではないか。

市長 県の実態調査を確認しながら、幼稚園・保育園も検討していきたい。

その他の質問

○さえずりの森のレストラン

貧困対策

現状と今後の対応

市長／子育て支援充実に取り組む



峯下 洋

峯下 子どもの貧困問題が全国的にクローズアップされているが、本市の

現状と今後の対応について問う。

市長 平成24年の厚生労働省の国民生活調査で母子世帯の割合が高いとされているが、その実態を把握することは難しい。

今年度、県のモデル事業のひとり親家庭の小・中学生を対象とした、学



▲みんな元気で大きくなーれ！

習支援事業を市母子寡婦福祉会が受託し、9月3日より実施している。

今後も、関係部署との連携と民間企業や市民団体等の協力を得ながら、子育て支援の充実に取り組んでいく。

協議会からの施設管理の要望

市長／検討していく

峯下 校区コミュニティ協議会からの施設管理の要望をどのように対処していくか。

市長 地区公民館の施設管理を、校区コミュニティ協議会で行うことは多様化する住民ニーズにより効果的に対応する。施設の管理に民間等の能力を活用し、住民サービスの向上を図る。

今後、指定管理者制度等による管理について、検討していく。

その他の質問

○空き家対策

○支援学級の担任

計画の見直し

市長／随時改訂する

地域防災



犬伏 浩幸

犬伏 本市の地域特性・災害特性を踏まえ、地域防災計画の見直しが必要であると考えるが見解を問う。
市長 本年3月に市防災会議を開催し、4月に改訂した。
改訂内容は、組織機構改革、災害時要配慮者に



▲待機児童の解消を

関連する修正加筆、気象警報発表基準、市原子力災害対策編等である。
今後、災害対策基本法の改正、地域防災計画等の改訂に伴い、随時改訂する。

子育て支援

市長／拡充に努める

犬伏 本市は「始良市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援の充実に推進してきた。「量の拡充」について、その成果・課題・解決策を示せ。

市長 平成27年度中に、認定こども園に移行した保育所が3園、小規模保育施設の新設が2園、認可保育所の定員増が2園あった。しかし待機児童解消には至っていない。
来年度は、認定こども園1か所の開設に向け事業を進めている。
今後も、待機児童の解消に向け「量の拡充」に努める。

その他の質問

○地域活性化



▲整備が望まれる帖佐駅前通り



谷口 義文

谷口 帖佐駅は本市の中心駅であり、市の顔とも言えるが、駅周辺は閑散として淋しい限りである。県道の拡幅の要望も何回も出されたが、一向に

帖佐駅

改築と周辺再開発

市長／JRとも協議検討する

進展の兆しは見えてこない。知事も交代したこのチャンスに駅周辺の拡幅と駅舎等の改築を要望する。

市長 帖佐駅から市役所周辺、イオンタウンに至るまでの環境整備を、都市計画マスタープランにおける土地利用の枠組みで、この地域を商業地域として立地誘導し、交通網等も考慮した「立地適正化計画」を策定して、適正な基盤整備を図っていく。

帖佐駅の改築については、地域の方々などから南側に改札口を設けて欲しいとの要望も受けており、駅利用者のニーズや専門家の知見を受け、JR九州とも協議しながら、駅周辺のあり方を検討していく。

その他の質問

- 夏祭り
- 宿泊施設

人権擁護委員を適任と認める

人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視の高揚に務めることを使命とします。本年12月31日をもって、黒田静子氏、古城り子氏、海老原博子氏、錦京子氏が任期満了となります。黒田静子氏は再度、ほか3名の後任として、福山和昭氏、岩重俊一氏、甲斐水江氏が委員候補者として推薦されました。

いずれも適任者として認めました。



黒田 静子 氏
(平松 73 歳)



福山 和昭 氏
(宮島町 64 歳)



岩重 俊一 氏
(加治木町本町 68 歳)



甲斐 水江 氏
(蒲生町北 59 歳)

追跡

あん質問な
いけんなった

物産館建設事業について

新しい物産館は、西之妻地区に決定
平成28年度から基本計画・基本設計予定
だったが

いっと
聞ってみるかい?



第6次実施計画で 建設計画を延伸!!

じゃっとなあ!?
なるほど、
了解!

なんでえ?



〈理由〉

- ①市民生活上優先的事項を実施するため（火葬場や新庁舎建設など）
- ②建設予定地周辺の交通事情の変化を予想

- イオンタウン2期工事
 - スマートインターチェンジなど
- 建設時期等を慎重に見極める必要
ありと判断

（集客力が経営に大きく影響する）



政務活動費は
どうなってるの？



みなさんの
素朴な「ギモン？」に
答えます。

いくつかの地方議会において、政務活動費の不適切な支出やずさんな管理が問題になり、全国的にも大きな話題になっています。

このため、「始良市の政務活動費は大丈夫か？」との問い合わせもあります。

今回は本市の現状をお伝えします。

実は

政務活動費はありません

旧3町時代から始良市において、「政務活動費」はありません。現在、市議会議員に認められているのは議員報酬（月額30万3千円）のみで、東京都議会で話題になった「出会費」もありません。



このため、疑念を抱かれるような心配はありませんが、政務活動費を備えた周辺他市（下表）のように、会派や個人で研鑽を積み積極的な提言や提案が乏しいのもまた本市議会の現状です。



政務活動費は、「政策調査研究等の活動のために支給される費用」で、支給額や適用される出費内容などは条例によって定められています。

主に認められている費用は、議員活動の範囲に関係する書籍等の購入費用、研修会に参加するための費用、先進地視察の諸費用などです。

始良市議会では監視機能ばかりでなく、政策的な提言、提案を積極的にしていくために、他市のような政務活動費が必要ではないかということで、現在、議会改革推進特別委員会でその導入を検討しています。

周辺他市の「政務活動費」の設定状況

月額と報酬と政務活動費（単位：万円）



インタビュー 始良で「働く人」

プロドライバー に聞く



▲大型トラックと一緒に

今回は、加治木町木田の始良クリーンセンター前に新しく移転した株式会社木村ブロック工業で働く前田さんにインタビューしました。

前田さんは、大型トラック（25ト）によるコンクリートブロック製品の配達（県内一円及び九州管内）が主な仕事です。



前田 博さん
妻・子ども2人(42才)

この仕事を希望された理由は

以前は別な会社でデスクワークが主体でした。もともと車の運転が好きで、トラックに乗る仕事があったので、大型免許を取得したのを機に、この仕事につきましました。働いて12年になります。

仕事をする上で必要な資格等がありますか

大型免許は無くても普通トラックの運転は出来ますが、一通りの仕事を一人でこなしていくには、その他にクレーン、玉掛け、フォークリフト等の免許や資格が必要です。

車の運転が好き 仕事に情熱と生きがい



最も気を遣うトラックへの積み込み作業

を要請されたときが何よりうれしいです。最近では、地震の影響かと思われませんが、熊本方面からの注文がよくあります。

この仕事で一番苦勞されることは

ブロックが重たいので、取り扱いには苦勞します。商品傷つけないことはもちろんですが、体に負担が来ないように作業をするのが大変です。

この仕事をして一番嬉しいと感じられたときは

配達先の商品（ブロック）が少なくなり、補充

運転で遠方まで行かれるようですが、これまで危険を感じた事はありますか

ある冬の寒い日、九州自動車道から大分自動車道へ入った際、急に天候が変わり、猛吹雪に見舞われました。トラックがスリップし横転しそうになったことは、忘れられません。

あなたにとって、働く目的、生きがいは

目的は、ずばり家族のためです。夜遅く仕事から帰って来て子どもたちの寝顔を眺めたり、休みの日に家族と過ごす一時が生きがいを感じます。



▲1日約1万本のブロックを製造可能な新工場

始良市や会社に対する要望等があったら

もっと多くの企業が始良市に根付いて、若い人たちの働き場所が増えてほしいと思っています。

（聞き手 和田）

（株）木村ブロック工場は、工場及び製造設備の老朽化、付近の道路状況を考慮して、平成26年11月、市と立地協定を結び、地域経済の浮揚発展に貢献できる会社・従業員でありたいと考え、今年の5月完成した新工場へ移転しました。

第8回 クイズ

あいら市議会だより
No.25

平成28年11月30日発行



クイズの答え ②吉左右踊り

太鼓踊は鹿児島県に多いが、当地ではこれに吉左右踊が付加している。毎年8月16日、17日の両日、春日神社に集合し、仮屋馬場、菅原神社、精矛神社、諏訪神社の順に奉納される。

吉左右踊は、白狐と赤狐に扮したドラ打(道化役)2人、踊子10人以上20人以下で、道楽【みちがく】と庭おどりがある。続いて太鼓踊となる。道おどり、あんね(案内)、庭おどりがある。鉦打ち4人、ホタ振り(総指揮の格)1人、太鼓(踊り子)20人以上、小鉦打ち数人(幼児)が出演する。

- 桑木 和代(始良)
- 中原 順子(加治木)
- 川野 威朗(加治木)
- 福永 伸子(始良)
- 仲山 幸代(始良)

正解者5人に
図書カード
クイズに7人の応募があり、抽選の結果、次の5人の方に図書券を贈りました。
ご当選おめでとうございました。(敬称略)

正解者5人に
図書カード

第8回クイズ
応募者より

「あいら市議会だより」をいつも楽しみに拝見しています。なかなか議会を生で観に行けませんが、いつか機会があったら、是非、観たいと思っています。
これからもわかりやすい広報紙を期待しております。頑張ってください。

傍聴席へどうぞ 車いす席もあります

第12月定例議会は、11月25日から12月19日まで開催予定

編集後記

木々も色づき、秋も深まってきました。今回の一般質問では防災対策・子どもの貧困問題や子育て支援等を通し、社会や国のあり方に連動する課題が浮き彫りになりました。
また27年度決算審査では、合併以来の着実なまちづくりを認定しました。今後も確実に議会改革を進めながら、わかりやすい広報紙面の編集に取り組んでまいります。

広報委員 湯川 逸郎

編集・発行責任者

議長 湯之原 一郎

広報広聴特別委員会

(広報班)

委員長 峯下 洋
副委員長 渡邊 理慧
委員 犬伏 浩幸
和田 里志
湯川 逸郎
新福 愛子
神村 次郎
森川 和美
東馬場 弘
竹下日出志
小山田邦弘
堂森 忠夫